

令和元年度 事務事業評価シート

事務事業名		がん検診				所管	健康部 保健サービス課				
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	76	計画事業名	がん予防対策の充実			事業の開始・終了年度			
	長期総合計画体系	[基本目標] いつまでも健やかに自分らしく暮らせるまちの実現 [施策] 16 がん対策の推進					[事業開始]	昭和 5 7 年度			
	根拠法令等	その他	〔法令等名〕			健康増進法第9条第1項(健康診査の実施等に関する指針)					
	事業対象	直接の対象 : 胃・大腸・肺・乳がん検診:40歳以上 子宮頸がん検診:20歳以上 最終的な対象 : 同上									
	事業目的	職場等で受診機会の無い区民に対してがん検診を実施することで、がんの早期発見・早期治療につなげ、がんによる死亡率の低下を図る。									
	事業内容 [H30年度]	検査内容: 胃がん検査(問診、胃部X線検査)、大腸がん検査(問診、便潜血検査)、肺がん検査(問診、胸部X線検査、喀痰検査(50歳以上でブリクマン指数600以上))、乳がん検診(問診、マンモグラフィ撮影)、子宮頸がん検診(問診、視診、内診、細胞診) 実施時期: 4月~3月 費用: 無料 実施場所(委託先): ①胃がん、肺がん 永寿総合健診・予防医療センター、浅草病院、台東病院、鶯谷健診センター ②大腸がん、子宮頸がん 医師会所属医療機関 ③乳がん 永寿総合健診・予防医療センター、浅草病院、鶯谷健診センター、上野くろもんクリニック									
	委託の有無	一部委託	委託内容			検診業務全般					
補助金の有無	なし										
事務事業の実績	種別	指標の名称	単位	R2年度	H28年度	H29年度	H30年度				
				目標値	実績	実績	実績	目標値	達成率		
	活動指標	各種がん検診実施期間		通年	通年	通年	通年	通年	-		
	成果指標	がん検診受診者数(胃・肺・大腸)	人	29,000	26,805	28,866	28,893	27,500	105.1%		
		女性のがん検診受診者数	人	14,500	13,632	13,971	14,141	13,900	101.7%		
	決算額 (単位:千円)				H28年度		H29年度		H30年度		
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)			172,659		192,045		192,900		
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)			11,584		8,014		7,935		
		その他のコスト(扶助費・補助費など)			172,659		192,045		192,900		
		総経費			0		0		0		
財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)			184,243		200,059		200,835			
	その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)			0		0		0			
	一般財源(区負担額)			0		0		0			
課題及び今後の進め方	継続的な周知啓発・受診しやすい環境整備を行ったことにより、受診者数・受診率は増加傾向にあるが、依然として国の掲げる目標には達していない状況である。複数の健診・検診を同時に受診可能にする体制や、検診受診の重要性に関する周知啓発方法を工夫するなど対策を講じる必要がある。										
評価の視点	評価	評価の理由									
	必要性	3	がんは死因の第一位であり、その予防対策の必要性は大きく、受診者数も増加傾向にある。がん検診を実施することで、がんの早期発見、早期治療及び死亡率の減少につなげることが出来る。								
	効率性	3	前年よりコストは増加しているものの、受診者数はそれ以上に増加していることから、効率的に事業を運営している。更なる事業目的達成のために、引き続き、周知啓発、未受診者への働きかけを行っていく。								
	手段の適切性	3	区民の利便性のため、区内医療機関において通年・無料で実施している。また、一部医療機関で、胃・肺・大腸がん検診の同時受診や総合健康診査と同時受診を導入している。								
目的達成度	4	継続して目標を達成しており、区民のがんの早期発見・早期治療につながっている。引き続き、検診受診の重要性等に関する周知啓発・未受診者への働きかけを継続し、より多くの区民の受診につながるよう努めていく。									
[総合評価] ※上記4つの視点を踏まえ、事業全体を評価。区民生活への影響を十分考慮すること。						今後の方向性					
がん死亡率を減少させるためには、一次予防だけでなく、多くの区民のがん検診の受診が必要である。これまでの継続的な周知啓発や受診しやすい環境整備により、受診者数・受診率は安定的に増加している。今後も、より多くの区民ががん検診を受診することで、がんの早期発見・早期予防につながるよう、引き続き、勧奨方法等の工夫を実施していく必要がある。						維持		拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了			